

こども宅食アンケート票

▽▲ご記入にあたっての注意▲▽

- このアンケートは、保護者の方が、お答えください。
- お子さんに関する質問項目については、2019年3月31日時点で、0～18歳のお子さんについてのみお答えください。
- この調査は無記名です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- ご回答は、質問番号の順番に、鉛筆か、黒または青のボールペンで、質問項目で指定されている方法(回答の番号に○をつけるか、回答の番号を記入するか)でお答えください。答えに自信がなくても、すべての質問に答えてください。

- 「その他」に○をつけた場合は、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、みつ折りにして入れ、返送用の封筒に入れて郵送してください。
- 本調査につきましては、こども宅食事務局内日本ファンドレイジング協会が情報処理を取り扱います。情報の利用は、利用目的の範囲内でのみ使用し、利用目的の範囲を超えた個人情報(取扱いは一切行いません)の取り扱いは一切行いません。また、寄付者への説明や論文、プレスリリースなど、第三者にこの情報を伝える場合は、個人が特定されない形で提供されます。

お問い合わせ先：ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

[メール] info@kodomo-takushoku.jp (こども宅食事務局)

[電話] 03-6809-2590 (特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会内 こども宅食事務局 担当：川合)

ご記入日： 月 日

あなたのこと、あなたの世帯のことについておうかがいします

全員におうかがいします。

問1. お子さんとあなた(回答者)との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。(あてはまる番号1つに○)

1 父親	4 祖母
2 母親	5 兄弟姉妹
3 祖父	6 その他(具体的に)

問2. あなたの年齢を教えてください。(枠内に数字で回答してください)

歳

問3. 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1 結婚している(事実婚を含む)	3 死別
2 離婚(別居中を含む)	4 未婚・非婚

問4. 同居されているご家族の構成をおしえてください。お子さんからみた続き柄で、それぞれ、人数も教えてください。(あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください)

1 父親	5 お子さん(0-18歳)(人)
2 母親	6 お子さん(19歳-)(人)
3 祖父(人)	7 その他の親せき(人)
4 祖母(人)	8 その他(人)

問5. お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障害があったりするなど、介護が必要な方はいますか。(あてはまる番号1つに○)

1 いる	2 いない
------	-------

問6. 同居しているご家族に、長期の通院または入院を伴うような病気・病歴、障害または介護がある人はいますか。現在の状況について、お答えください。また、「はい」を選んだ方については、どなたが対象かについてもご回答ください。

	はい	いいえ	(「はい」を選んだ方)どなたが対象ですか。
A 長期の通院または入院を伴うような病気にかかっている人がいる	1	2	
B 長期の通院または入院を伴うような病歴のある人がいる	1	2	
C 障害を抱えている人がいる	1	2	
D 介護が必要な人がいる	1	2	

問7. 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○)

1 持家 (あなた又はあなたの配偶者名義)	5 社宅
2 持家 (親族名義)	6 借家 (マンションやアパートなど)
3 都営・区営住宅	7 間借
4 公社・公団 (UR) 賃貸	8 その他
(具体的に:)	

問8. お子さんのお母さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。(あてはまる番号1つに○)
※お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問10にお進みください。

1 民間企業の正社員	5 自営業 (家族従業員を含む)	9 専業主婦
2 公務員などの正職員		10 学生
3 契約社員・派遣社員・嘱託社員	6 自由業	11 引退 (退職)
4 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	7 団体職員	12 その他の無職
	8 その他の働き方をしている	13 わからない

(1) お子さんのお母さまのご職業やお給料について、前回から変化がありましたか。(あてはまる番号1つに○)

1 はい ((2) にお進みください)	2 いいえ (問9 にお進みください)
----------------------	---------------------

(2) 問8. (1)で「はい」とお答えいただいた場合、当てはまるものについて○をつけてください。(あてはまる番号に○)

1 仕事を始めた	5 給料が下がった
2 仕事を辞めた	6 雇用形態が変わった
3 転職した	7 雇用条件が変わった
4 給料が上がった	(具体的に)

問9. お母さまが職業をおもちの方におうかがいします。お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 早朝 (5~8時)	4 土曜出勤	7 平日の日中以外の勤務はない
2 夜勤 (20時~22時)	5 日曜・祝日出勤	
3 深夜勤務 (22時~5時)	6 その他 (具体的に)	

問10. お子さんのお父さまの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。(あてはまる番号1つに○)
※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問12にお進みください。

1 民間企業の正社員	5 自営業 (家族従業員を含む)	9 専業主婦
2 公務員などの正職員	6 自由業	10 学生
3 契約社員・派遣社員・嘱託社員	7 団体職員	11 引退 (退職)
4 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	8 その他の働き方をしている	12 その他の無職
		13 わからない

(1) お子さんのお父さまのご職業やお給料について、前回から変化がありましたか。(あてはまる番号1つに○)

※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問12にお進みください。

1 はい ((2)にお進みください)	2 いいえ (問11にお進みください)
--------------------	---------------------

(2) 問10. (1)で「はい」とお答えいただいた場合、当てはまるものについて○をつけてください。(あてはまる番号に○)

1 仕事を始めた	5 給料が下がった
2 仕事を辞めた	6 雇用形態が変わった
3 転職した	7 雇用条件が変わった
4 給料が上がった	(具体的に)

問11. お父さまが職業をおもちの方におうかがいします。お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 早朝 (5~8時)	4 土曜出勤	7 平日の日中以外の勤務はない
2 夜勤 (20時~22時)	5 日曜・祝日出勤	
3 深夜勤務 (22時~5時)	6 その他 (具体的に)	

問12. あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1か月あたりの支給額はいくらですか。(枠内に数字で回答してください) ※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。

※ 「児童育成手当」「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための補助金です。

		1か月あたり金額
A	児童手当	円 (4か月に1回支払われます)
B	児童育成手当	円 (4か月に1回支払われます)
C	児童扶養手当	円 (4か月に1回支払われます)
D	特別児童扶養手当	円 (4か月に1回支払われます)
E	年金(遺族年金、老齢年金など)	円 (2か月に1回支払われます)

問13. お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、2017年のおおよその年間収入(額面)はいくらですか。(あてはまる番号1つに○)

※収入には、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含みますが、就学援助や児童扶養手当など、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合(お父さまが勤労収入、お母さまに事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

1	収入はない(0円)	6	200~250万円未満	11	450~500万円未満
2	1~50万円未満	7	250~300万円未満	12	500~550万円未満
3	50~100万円未満	8	300~350万円未満	13	550~600万円未満
4	100~150万円未満	9	350~400万円未満	14	600万円以上
5	150~200万円未満	10	400~450万円未満	15	わからない

問14. 現在、回答者ご自身と同じ家計で暮らしている人は何人いますか。(あなたとお子さんも含み、家族以外の同居者、単身赴任等で現在家にいない人も含めた人数をご回答ください) また、単身赴任しているご家族も含めてください。(枠内に数字で回答してください)

人

問15. 生活や子育ての中での困りごとについて、ご家庭の状況について当てはまるものをお選びください。(あてはまる番号に○)

		とても困っている	困っている	どちらともいえない	あまり困っていない	まったく困っていない
A 健康	A-1 病気や身体の変化	5	4	3	2	1
	A-2 障害	5	4	3	2	1
	A-3 介護	5	4	3	2	1
B 住まい	B-1 老朽化	5	4	3	2	1
	B-2 機能・設備(エレベーターがないなど)	5	4	3	2	1
	B-3 広さ	5	4	3	2	1
	B-4 衛生面	5	4	3	2	1
	B-5 周囲の環境	5	4	3	2	1
C 経済的負担	C-1 収入	5	4	3	2	1
	C-2 家賃やローンの支払い	5	4	3	2	1
	C-3 食費	5	4	3	2	1
	C-4 債務、借金	5	4	3	2	1

	C-5 子どもの教育費	5	4	3	2	1
	C-6 税金の支払い	5	4	3	2	1
	C-7 公共料金の支払い	5	4	3	2	1
D 人間関係	D-1 夫婦の関係性	5	4	3	2	1
	D-2 子どもとの関係性	5	4	3	2	1
	D-3 親族との関係性	5	4	3	2	1
	D-4 DV (身体的暴力、精神的暴力、性的暴力)	5	4	3	2	1
	D-5 近隣、地域での人間関係	5	4	3	2	1
E 子育て	E-1 教育	5	4	3	2	1
	E-2 ひきこもり・不登校	5	4	3	2	1
	E-3 発達・発育	5	4	3	2	1
	E-4 健康状況・身体状況	5	4	3	2	1
	E-5 情緒の安定性	5	4	3	2	1
	E-6 問題行動	5	4	3	2	1
	E-7 生活習慣	5	4	3	2	1
F 就労	F-1 仕事上の不安やトラブル	5	4	3	2	1
	F-2 仕事探し、就職	5	4	3	2	1

問16. あなたの現在の生活に対する満足度について点数をつけると、100点満点で何点になりますか。

/100点

(1) その点数をつけた理由について、具体的にお聞かせください。

お子さんのことについておうかがいします。

全員におうかがいします。

2019年3月31日時点で、0～18歳のお子さんについてのみお答えください。年齢の高いお子さんからお答えいただき、6人以上お子さんのいらっしゃる方は5人目のお子さんまでの記入で構いません。

問17. お子さんについて、お答え下さい。状況の正確な把握のため、この設問には必ずお答えください。

(1) お子さんの性別はどちらですか。(下の回答欄に、お子さんごとに回答番号を記入してください)

1 男	2 女
-----	-----

記入例：一人目のお子さんが男、二人目のお子さんが女、三人目のお子さんが女の場合

ひとりめ 一人目	1	ふたりめ 二人目	2	さんにんめ 三人目	2	よにんめ 四人目		ごにんめ 五人目
-------------	---	-------------	---	--------------	---	-------------	--	-------------

回答欄

ひとりめ 一人目		ふたりめ 二人目		さんにんめ 三人目		よにんめ 四人目		ごにんめ 五人目
-------------	--	-------------	--	--------------	--	-------------	--	-------------

(2) お子さんの年齢を教えてください。(下の回答欄に、お子さんごとに枠内に数字を回答してください)

回答欄

ひとりめ 一人目	歳	ふたりめ 二人目	歳	さんにんめ 三人目	歳	よにんめ 四人目	歳	ごにんめ 五人目	歳
-------------	---	-------------	---	--------------	---	-------------	---	-------------	---

(3) お子さんの通われている保育・教育機関を教えてください。(下の回答欄に、お子さんごとに回答番号を記入してください)

1 認可保育所	6 幼稚園 (公立)	11 中学校	15 高校 (公立)
2 認証保育所	7 幼稚園 (私立)	(国立・公立中高一貫校)	16 高校 (私立)
3 無認可の保育施設	8 小学校 (国立)	12 中学校 (公立)	17 通っていない
4 認定こども園	9 小学校 (公立)	13 中学校 (私立)	
5 幼稚園 (国立)	10 小学校 (私立)	14 高校 (国立・公立中高一貫校)	

回答欄

ひとりめ 一人目		ふたりめ 二人目		さんにんめ 三人目		よにんめ 四人目		ごにんめ 五人目
-------------	--	-------------	--	--------------	--	-------------	--	-------------

問18. お子さんの食事についてお聞きします。過去1ヶ月の状況で、一番近いと思うものを選んでください。

(1) お子さんは朝食を食べますか。当てはまる番号を選んでください。(下の回答欄に、お子さんごとに回答番号を記入してください)

9 毎日食べる	11 ほとんど食べない
10 ときどき食べる	12 全く食べない

回答欄

ひとりめ 一人目		ふたりめ 二人目		さんにんめ 三人目		よにんめ 四人目		ごにんめ 五人目
-------------	--	-------------	--	--------------	--	-------------	--	-------------

問19. お子さんは、ふだんの朝食・夕食で次の食品を少なくとも1日に1回(給食を除く)は食べていますか。1日に1回は食べているものについて教えてください。(下の回答欄に、お子さんごとに回答番号を記入してください)

1 肉、魚、卵などの動物性たんぱく質	4 果物
2 野菜	5 牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品
3 大豆(豆腐・納豆など)・ナッツ類・ゴマなどの植物性たんぱく質	

回答欄

ひとりめ 一人目		ふたりめ 二人目		さんにんめ 三人目		よにんめ 四人目		ごにんめ 五人目
-------------	--	-------------	--	--------------	--	-------------	--	-------------

問20. お子さんの現在の健康状態はどうか？(下の回答欄に、お子さんごとに回答番号を記入してください)

1 よい	4 あまりよくない
2 まあよい	5 よくない
3 ふう	

回答欄

ひとりめ 一人目	ふたりめ 二人目	さんにんめ 三人目	よにんめ 四人目	ごにんめ 五人目
-------------	-------------	--------------	-------------	-------------

問21. お子さんは、この半年に保育園・幼稚園・小中高校を休みましたか。(下の回答欄に、お子さんごとに回答番号を記入してください)

* 休みには、保育園・幼稚園・小中高校自体が臨時休業となった場合を含みません(学級閉鎖、台風など)

1 休んだ	3 分からない
2 休まなかった	

回答欄

ひとりめ 一人目	ふたりめ 二人目	さんにんめ 三人目	よにんめ 四人目	ごにんめ 五人目
-------------	-------------	--------------	-------------	-------------

(1) 上で「休んだ」を選んだ方にお聞きします。休んだ理由としてあてはまる、およその日数を記載してください。(下の回答欄に、お子さんごとに、理由ごとに日数を記入してください)

1 病気やけが()日	3 本人が行きたがらなかった()日
2 忌引きなど家庭の理由()日	4 その他の理由()日

回答欄

ひとりめ 一人目	ふたりめ 二人目	さんにんめ 三人目	よにんめ 四人目	ごにんめ 五人目
1 ()日	1 ()日	1 ()日	1 ()日	1 ()日
2 ()日	2 ()日	2 ()日	2 ()日	2 ()日
3 ()日	3 ()日	3 ()日	3 ()日	3 ()日
4 ()日	4 ()日	4 ()日	4 ()日	4 ()日

あなた自身のことをお聞きします。

全員におうかがいします。

問22. 次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		いつも	たいてい	ときどき	すこしだけ	まったくない
A 神経過敏に感じましたか	→	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	→	1	2	3	4	5
C そわそわ、落ち着かなく感じましたか	→	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じましたか	→	1	2	3	4	5
E 何をするのも骨折りだと感じましたか	→	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	→	1	2	3	4	5

問23. あなたは、一日3食を食べますか。(あてはまる番号1つに○)

1 ほぼ毎日3食食べる	3 ほぼ毎日1食食べる
2 ほぼ毎日2食食べる	4 ほぼ食べない

(1) 「2 ほぼ毎日2食食べる」または「3 ほぼ毎日1食食べる」を選んだ方にお聞きします。3食食べないときの、主な理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1 食費を節約したい	4 昔からの習慣
2 時間がない	5 その他
3 食欲がない	(具体的に)

問24. あなたは朝食を食べますか。(あてはまる番号1つに○)

1 毎日食べる	3 ほとんど食べない
2 ときどき食べる	4 全く食べない

問25. あなたは、次の食品を少なくとも1日に1回は食べていますか。1日に1回は食べているものすべてに○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

1 肉、魚、卵などの動物性たんぱく質	4 果物
2 野菜	5 牛乳・ヨーグルト・チーズなどの乳製品
3 大豆(豆腐・納豆など)・ナッツ類・ゴマなどの植物性たんぱく質	

お子さんとのかわりについておうかがいします

全員におうかがいします。

問26. あなたの家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。お子さんが小さくて該当しない場合は、「6 該当なし」を選んでください)

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	めったにない	該当なし
A お子さんの勉強をみる →	1	2	3	4	5	6
B お子さんとからだを動かして遊ぶ(キャッチボールなど) →	1	2	3	4	5	6
C お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ(テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど) →	1	2	3	4	5	6
D お子さんとカードゲームなどで遊ぶ(トランプ・ボードゲーム・将棋など) →	1	2	3	4	5	6
E お子さんと学校や保育園等での生活の話をする →	1	2	3	4	5	6
F お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする →	1	2	3	4	5	6
G お子さんとテレビ番組(ニュースを除く)の話をする →	1	2	3	4	5	6
H お子さんと一緒に料理をする →	1	2	3	4	5	6
I お子さんと一緒に外出をする →	1	2	3	4	5	6

問27. 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。お子さんが小さくて該当しない場合は、「0 適用年齢ではない」を選んでください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		適用年齢 ではない	あ る	な い		
				金銭的な 理由で	時間の 制約で	その他の 理由で
A 海水浴に行く	→	0	1	2	3	4
B 博物館・科学館・美術館などに行く	→	0	1	2	3	4
C キャンプやバーベキューに行く	→	0	1	2	3	4
D スポーツ観戦や劇場に行く	→	0	1	2	3	4
E 遊園地やテーマパークに行く	→	0	1	2	3	4

問28. あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1 (元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある
- 2 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
- 3 育児放棄になった時期がある
- 4 出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある
- 5 わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある
- 6 自殺を考えたことがある
- 7 1～6のいずれも経験したことがない

あなたのご家庭での生活についておうかがいします

全員におうかがいします。

問29. ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 赤字であり、借金をして生活している | 4 黒字であるが、貯蓄はしていない |
| 2 赤字であり、貯蓄を取り崩している | 5 黒字であり、毎月貯蓄をしている |
| 3 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである | 6 その他(具体的に) |

問30. あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 まれにあった | 4 まったくなかった |
|---------|-----------|----------|------------|

問31. あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 まれにあった | 4 まったくなかった |
|---------|-----------|----------|------------|

問32. 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
A	電話料金 →	1	2	3
B	電気料金 →	1	2	3
C	ガス料金 →	1	2	3
D	水道料金 →	1	2	3
E	家賃 →	1	2	3
F	住宅ローン →	1	2	3
G	その他の債務 →	1	2	3

問33. あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。お子さんが小さくて該当しない場合は、「0 適用年齢ではない」を選んでください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		適用年齢 ではない	している	していない	
				したくない (方針で ない)	経済的に できない
A	毎月お小遣いを渡す →	0	1	2	3
B	毎年新しい洋服・靴を買う →	0	1	2	3
C	習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる →	0	1	2	3
D	学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう) →	0	1	2	3
E	お誕生日のお祝いをする →	0	1	2	3
F	1年に1回くらい家族旅行に行く →	0	1	2	3
G	クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる →	0	1	2	3
H	子どもの学校行事などへ親が参加する →	0	1	2	3

問34. 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 子どもの年齢に合った本 | 9 電子レンジ |
| 2 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ | 10 電話 (固定電話・携帯電話を含む) |
| 3 子どもが自宅で宿題をすることができる場所 | 11 インターネットにつながるパソコン |
| 4 洗濯機 | 12 新聞の定期購読 (ネット含む) |
| 5 炊飯器 | 13 世帯専用のお風呂 |
| 6 掃除機 | 14 世帯人数分のベッドまたは布団 |
| 7 暖房機器 | 15 急な出費のための貯金 (5万円以上) |
| 8 冷房機器 | 16 あてはまるものはない |

支援に関する経験や考え方についてお聞かせください。

全員におうかがいします。

問35. お子さんの子育て (教育を含む) をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|----------------|--------|
| 1 相談できる相手がいる | 2 相談相手がおらず、ほしい | 3 必要ない |
|--------------|----------------|--------|

(1) 問35で、「1. 相談できる相手がいる」とお答えの方におうかがいします。お子さんの子育て (教育を含む) に関して、気軽に相談できる先は誰 (どこ) ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|--|
| 1 配偶者・恋人 | 13 民生委員・児童委員 |
| 2 親 | 14 かかりつけの医師 |
| 3 子ども | 15 子育て支援施設 (児童館等)・ |
| 4 その他の親族 | 16 育成室 (学童保育) 職員・指導員 |
| 5 友人・知人 | 17 子育て関連相談窓口 (教育センター、児童相談所、子ども家庭支援センター、子育てひろばなど) |
| 6 近所の人 | 18 保健所・保健サービスセンター |
| 7 職場の人 | 19 民間カウンセラーなどの専門家 |
| 8 学校の先生 | 20 民間団体やボランティア |
| 9 幼稚園の先生 | 21 SNS (Facebook、Twitter など) の相手 |
| 10 保育士 | 22 その他 |
| 11 塾・習い事の先生 | () |
| 12 スクールカウンセラー | () |

問36. あなたは、次のものについて、これまでに実際に利用したことがありますか。また、よかったと思う制度はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

	利用した		利用しなかった	
	役に立った／良かった	役に立たなかった	制度自体は知っていた	制度自体を知らなかった
A 保育所や幼稚園の利用料の減額や免除	1	2	3	4
B 小中学校の就学援助、就学奨励費、高等学校の授業料援助	1	2	3	4
C 修学資金の貸付、奨学金	1	2	3	4
E 無料または低料金で利用できる、学習支援	1	2	3	4
F 住宅を探す援助	1	2	3	4
G 生活保護	1	2	3	4
H 生活困窮者やひとり親家庭への就職サポート (就労相談、職業訓練のための給付金等)	1	2	3	4
I ひとり親の医療費助成	1	2	3	4
J 児童扶養手当や障害・難病の手当(特別児童扶養手当)	1	2	3	4
K 生活に必要な資金の貸付(母子父子寡婦福祉資金貸付金、生活福祉資金貸付金等)	1	2	3	4

問37. 以下の支援はどの程度重要だと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。

	非常に重要である ひじょうじゅうようである	重要である じゅうようである	どちらともいえない	あまり重要ではない あまりじゅうようではない	全く重要ではない 全くじゅうようではない
A 子供のことや生活のことなど悩みごとを相談できること こども せいかつ なやみ こと そうだん	5	4	3	2	1
B 同じような悩みを持った人同士で知り合えること おな なやみ もひとどうし しあ	5	4	3	2	1
C 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること みんせいいいん じどういいん ちいき ひと しえん うえ	5	4	3	2	1
D 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること りこん じやういくひ せんもんてき しえん うえ	5	4	3	2	1
E 病気や障害などについて専門的な支援が受けられること びょうき しょうがい せんもんてき しえん うえ	5	4	3	2	1
F 就職のための支援が受けられること しゅうしょく しえん うえ	5	4	3	2	1
G 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること じゅうたく さがす じゅうたくひ けいげん ための しえん うえ	5	4	3	2	1
H 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子供を預けられること びょうき じゅつさん じこ じじょう ひととき こと ちま あづ	5	4	3	2	1
I 子供の就学にかかる費用が軽減されること こども しゅうがく ひよう けいげん	5	4	3	2	1
J 一時的に必要な資金を借りられること ひととき 必要 ひつよう しきん かり	5	4	3	2	1
K 助けを求めたり相談できる相手とつながっていること たす もと そうだん あいて	5	4	3	2	1
L 食品など生活必需品の支援が受けられること しょくひん せいかつひつじゅひん しえん うえ	5	4	3	2	1
M 手当など現金の給付が受けられること てあて げんきん きゅうふ うえ	5	4	3	2	1

問38. 必要な支援を受けられるようにするために重要だと思われることはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

	非常に重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	全く重要ではない
A 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	5	4	3	2	1
B 携帯電話・スマホで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる	5	4	3	2	1
C メールマガジンやLINE等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を配信する	5	4	3	2	1
D 広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	5	4	3	2	1
E 相談窓口等の数を多くする	5	4	3	2	1
F 相談窓口等の場所をわかりやすくする	5	4	3	2	1
G 相談窓口等について行きやすい雰囲気にする	5	4	3	2	1
H 休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす	5	4	3	2	1
I 保育所、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報を提供する	5	4	3	2	1
J 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	5	4	3	2	1
K 弁護士など専門家に無料で相談できる機会を増やす	5	4	3	2	1
L 経済的な支援だけでなく、精神的なケアを支援として提供する	5	4	3	2	1
M LINE やメールなど、対面以外の方法で相談できる場を作る／増やす	5	4	3	2	1
N 周囲からわからないような方法で支援を受けることができる環境を作る	5	4	3	2	1
O 自治体だけでなく、NPO など民間団体による支援を受ける機会を増やす	5	4	3	2	1

問39. 支援に関する情報はどのような手段で受け取りたいですか。以下に挙げる伝達手段について、ご自身の評価としてあてはまるものをお選びください。

	とてもよいと思う	よいと思う	どちらともいえない	あまりよくないと思う	全くよくないと思う
A Instagram や twitter、facebook など SNS 上でフォローすると連絡が来る	5	4	3	2	1
B LINE@ でつながった特定のアカウントから定期的に情報が来る	5	4	3	2	1
C メールマガジンで定期的に情報が送られてくる	5	4	3	2	1
D 行政から届く各種書類の中にチラシが入っている	5	4	3	2	1
E 保育園や学校などで時期に合わせてチラシが配られる	5	4	3	2	1
F 時期に合わせて、郵送でチラシが配られる	5	4	3	2	1
G 地域で受けられる支援に関して様々な情報がまとまった冊子を配られる	5	4	3	2	1
H 相談窓口に行き、対面で支援サービスの紹介を受ける	5	4	3	2	1
I 相談員が自宅に来て、話をした上で支援サービスの紹介を受ける	5	4	3	2	1

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。